



# 萌木 7月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和4年7月11日発行

## 当たり前のこと

校長 山田 勝

新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先した生活の中で、3回目の夏休みを迎えます。2年前の夏は休校の関係で約2週間と短いものになりました。昨年は、ワクチン接種による期待とともに迎えた夏でしたが、感染拡大により夏休みが延長されました。そして、今年。感染の再拡大で「7波」という単語も使われ始めようとする中で、どう感染対策と向き合うか一人一人の判断も求められる、そのような夏になりそうです。

感染症対策や感染対策と熱中症対策の兼ね合いなど、とても多くの情報に触れる現在、自分にとって正しいと判断できる情報を得る難しさもあります。そのことを踏まえ生徒に話した6月の全校朝礼の講話を一部紹介します。

《前略》

さて、これから終業式までの1か月、行事等が無い中でどのようなことを頑張ろうと思いますか。

どの学年も進路学習や修学旅行・校外学習など新しい取り組みが始まります。その中で多くの情報に触れていきます。その時、自分がこの情報は正しいと判断することができる力が必要です。判断するとき、迷ったり悩んだりします。迷ったり悩んだりすることは、自分が持っている知識・情報の何を活用するか考えられているということです。その知識や考える力をしっかり身に着けることが、生涯にわたり大切なこととなります。そのための学習が中学校でも行われています。期末考査が返却されますが、できたこととできなかったことを並べるだけで終わらせるのではなく、その知識や学習内容の不足していたところをしっかりと補ってください。テスト返却時の先生の解説が重要です。できなかったところの補いにしっかりと取り組んでください。そして、1か月後、終業式の時までと同じ問題を解いたら100点が取れるよう補っておきましょう。

そのことが、正しい判断力を身に着けるための大切な取り組みとなります。

残りひと月となった1学期。5月からの1か月で、皆さんはそれぞれとても成長しています。これからの1か月も同じ時間が流れます。時間を大切に、しっかり成長し続ける七中生であってください。

これから迎える夏休み。しっかり成長し続けるためにも校訓「自尊・立志・感動」に基づいた目標を立て生活することで、夏休みを自分自身にとって有意義なものにしてほしいと思います。

### ○ 「自尊」【自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒】

一人一人はかけがえない存在です。「自分を大切にし、他の人を大切にする」ことを意識して生活することで、感染対策やSNS等のトラブルを起こさない等、当たり前のこともしっかり取り組んでほしいと思います。

また、家族の一員として、家族のために自分の出来る事を見付け、積極的に行なうことで、改めて「自分の大切さ」や「思いやり」を学べると思います。

### ○ 「立志」【夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒】

自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めてほしいと思います。休み中の自発的な学習は、自分を高め、自信につながります。

### ○ 「感動」【心と体を鍛え、感動を生む生徒】について

感染症対策・熱中症対策をしっかり行い、体を鍛えるとともに、心を鍛えることで、真に強い自分になってほしいと思います。

道徳授業地区公開講座につきまして、実施日の2日前の延期決定となり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、ご理解いただきましてありがとうございます。延期しての実施となりますが、その際はどうぞ生徒の活動をご覧くださいませようお願いします。